

平成 19 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 柳田 征司

最終学歴	1966年3月広島大学大学院文学研究科国語・国文学専攻博士課程単位取得満期退学
取得学位	文学修士
所属学会	日本語学会（理事）・訓点語学会・近代語学会
現在の専門分野	国語学
研究課題	日本語の歴史

【研究上の特記事項】

平成17年～19年度科学研究費基盤研究（C）「抄物目録の完成」研究代表者

【社会的活動】

石川文化事業財団理事、阪本龍門文庫理事、新村出記念財団評議員

【学内活動】（学内職歴を含む）

学生相談員ほか

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（学術論文） 上代日本語の母音連続	単	2007年11月	「国学院雑誌」108巻11号	上代日本語において母音連続がどのくらい生じていたか、そのうちどのくらいが母音連続を避けており、それはなぜ生じていたのかを論じた抄物と抄物の言語についての研究がこの60年間にどのように進み、今後どうあるべきかについて論じた。 日本書紀抄の目録を完成させた。
資料研究の現在 - 抄物の場合 -	単	2008年1月	「日本語の研究」4巻1号	
抄物目録稿（原典国書 - 日本書紀）下	単	2008年3月	「抄物の研究」15号	
（その他） 書評 金水敏著「日本語存在表現の歴史」	単	2007年6月	「国語と国文学」84巻6号	存在表現についての金水氏の著書を批判した。